

# 地域密着型サービス運営推進会議 報告書

会議名称：令和3年度 第5回（第93回）地域密着型運営推進会議

事業所名：グループホームなのはな

種 類：グループホーム

日 時：令和3年 12月26日（木） 13時00分 ～ 13時30分

会 場：グループホームより送付の資料をご覧いただき、ご意見等を寄せて頂く  
※新型コロナウイルス感染拡大防止の為、書面上の会議といたしました。

出席者（ご意見を頂いた方）

区分	人数	区分	人数
利用者代表			
利用者の家族	2	市役所職員	1
地域住民の代表		その他	
知見を有する者		事業者	3

## （1）入居者さまの状況報告

※現在9室満室

- ・ 11 / 1 体重測定
- ・ 11 / 16 往診
- ・ 12 / 1 体重測定
- ・ 12 / 15 女性利用者様（93歳）退院 〈11 / 5～入院〉
- ・ 12 / 23 女性利用者様（87歳）退院 〈12 / 8～入院〉
- ・ 12 / 21 往診

## （2）行事実施報告

- ・ 12 / 4 焼いも  
3日間仕込んだ芋で焼いも！！皆さまホクホクの焼いもを召し上がり、「これはうまい！！待った甲斐があるわ！」と頬を赤らめていました。
- ・ 12 / 25 女性利用者様（87歳）の誕生日会、クリスマス会  
クリスマスムード一色！歌やゲームで盛り上がりました。サンタさんが登場すると、「ええもんくれ～！笑」と皆さんととてもノリが良く、満面の笑みでプレゼントを受け取っていただきました。

※行事については、新型コロナウイルス感染拡大防止策（手指消毒、マスク着用等）を講じたうえで実施しております。また、密を避けるため外出支援については施設周辺の散歩を実施しています。

## （3）行事予定報告

- ・ 1 / 1 お正月
- ・ 1 / 30 女性利用者様（92歳）の誕生日

## （4）職員の状況等

- ・ 11 / 6 オンライン研修「新型コロナウイルス感染症対策研修会」  
主催者：三重県医療保健部感染症情報プロジェクトチーム  
講師：三重県医療保健部 I氏・H氏、鈴鹿厚生病院 看護師 O氏

## 新型コロナウイルス感染症と予防対策について受講

- 11/25 第6回志摩地域多職種交流会  
主催者：県立志摩病院  
講師：志摩病院 作業療法士 M氏、地域連携 M氏  
精神疾患の人に対する作業療法について受講  
施設や病院の面会制限等について情報交換を実施
- 12/2 女性スタッフ1名入社
- 12/13 女性スタッフ1名退社
- 12/15 オンライン研修「高齢者の権利擁護・身体拘束・虐待」  
主催者：一般社団法人 三重県地域密着型サービス協議会  
講師：楠井法律事務所 弁護士 I氏  
高齢者の権利擁護・身体拘束・虐待について受講

### (5) その他報告、連絡事項

#### ○2件の転倒事故の発生について

- 11月に1名、12月にも1名の利用者様が入院されましたが、どちらも転倒事故による骨折が原因です（現在は2名とも無事退院され、穏やかに過ごされています。）
  - 11/5の転倒事故発生を受け、事故検討会や定例会議で、当人だけでなく各利用者様の移動時の危険要因を抽出し、対策を講ずるよう全スタッフで共有しました。
  - その後、都度検証・評価・対応等を行い、事故の再発防止に努めてまいりましたが、12/7の深夜に居室内での転倒事故が起きてしまいました。
  - 12/7の転倒事故の発生を受け、事故検討会では特に夜間の対応に焦点をあて、当人の身体状態や精神状態及び生活習慣から危険要因を抽出し、対策を講ずるよう全スタッフで共有しました。
  - グループホームの利用者様は全員が認知症であり、ケガや病気のリスクが高い状態にあるため、安全対策への介入が不可欠です。一方で、安全対策への介入は、ときに本人の尊厳を傷つけてしまう恐れがあります。
  - グループホームの本質は自立支援を目的としており、スタッフは利用者様一人ひとりの尊厳を重んじているため、特に尊厳を傷つけないか注意して事故防止対策を検討しています。
  - 認知症をもつ高齢者は、考えることができないのではなく、むしろ“自分で考えて行動”します。本人自身は危険を感じていないことが多く、「自分ではできる、大丈夫だ」と信じています。そのため、リスクを小さくしようとする関わりは、ときに本人は考えを否定されたように感じたり、ストレスになって認知症状を悪化させ、かえってリスクが大きくなることもあります。
  - このように、認知症の方及び認知機能の低下した状態の方に対して事故防止対策を考えるにあたっては、本人の尊厳の保持に留意しつつ有効な対策を模索するところに難しさがあります。今回の転倒事故事例は、夜勤帯であったことから、人員の手薄い時間帯における巡回の時間帯や方法などを含めた業務フローを検討する必要があると考えています。
  - 今後、事故防止対策の検証・評価・対応改善を継続してより快適で安全な環境づくりに努め、利用者様が安心して生活できるように支援していきます。
- 新型コロナウイルス感染症について、政府の方針を参考に、感染者数や地域の状況に応じて面会制限等の扱いを検討していく予定です。
- 今後も感染予防への取り組みを徹底し、利用者様に安心して過ごしていただけるよう努力してまいります。

(6) 質疑応答・ご意見等

・ご家族様

- ① いつも丁寧に対応していただきありがとうございます。またいつでも連絡してください。面会は変異ウイルスやインフルエンザもありますし、しょうがないと思います。スタッフの皆さんも体調を崩されないよう頑張ってください。
- ② 会えて良かったです。色々とよくしてもらってありがとうございます。

・市役所職員様

【運営推進会議について】

新型コロナウイルス感染症対策を行いながらも、工夫をしながら季節を感じるイベントの開催をされており、特に12月4日の焼き芋では、利用者様が喜ばれている様子がとてもよく分かりました。

また、面会制限等の扱いについて、厚生労働省より「高齢者施設におけるワクチン接種等を踏まえた面会に係る事例集について」（令和3年12月15日付け事務連絡）が示されておりますので、検討の参考としていただきますようお願いします。

2021年は、市行政に多大なるご協力をいただき誠にありがとうございました。

来年は、より幸せ多き一年となりますことを心よりお祈りしています。

以上

【次回】 令和4年 2月17日(木) 19:00～20:00の予定